

一般質問・質疑の概要

平成26年12月定例会

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	12 大東 和美	<p><b>1、雑誌のスポンサー制度の導入を</b></p> <p>1-1 図書館だけでなく、公民館や公共施設の図書コーナーに雑誌を置いてはどうか。</p> <p><b>2、のっティのバス停に屋根の設置を</b></p> <p>2-1 のっティに関してどのような要望があるのか。また、要望の優先順位、今後の対応について伺う。</p> <p>2-2 椿荘や保健センターなどの乗り入れについて伺う。</p> <p>2-3 屋根付きバス停の設置条件は。</p> <p><b>3、子ども虐待のない社会へ</b></p> <p>3-1 「産後ケア」の充実について伺う。</p> <p>3-2 未検診児の状況について伺う。</p> <p>3-3 「要保護児童対策協議会」の設置について伺う。</p> <p><b>4、ビジネス相談所の開設を</b></p> <p>4-1 開設にあたり、どのような課題があるのか伺う。</p> <p><b>5、生活道路の除雪体制について</b></p> <p>5-1 除雪体制の今年の新しい取り組みとして、小型除雪機の個人購入に補助や市民協働の観点から、市民からの積雪情報の素早い対応を。</p>
2	質問 (一問一答)	6 川 哲郎	<p><b>1. 災害対策について</b></p> <p>I. 前回の質問（H24 第1回市議会定例会）を受けて改善・是正された点などについて</p> <p>(1) 地域防災活動の核となる人材育成の状況について職員で、防災士・応急危険判定士・防災ボランティアコーディネーターの現在の人数は。</p> <p>(2) 国の方針では、住宅や多数の人が利用する建築物の耐震化率を平成27年度までに少なくとも90%にする目標を定めているが目前に迫った今、野々市市の現状は？</p> <p>(3) 市は防災ボランティアの登録制度をつくる予定はないのか。</p> <p>II. 防災に関する教育と啓発について</p> <p>昔、正しいと思われていた間違った認識（知識）と現在（最新）の正しいとされる情報を提供して認識してもらうことも大切だと思います。</p> <p>(1) 『仙台発そなえゲーム』の野々市版の実施。 情報を与えるだけではなく市民自身が考え、創造（想像）する訓練（シュミレーション）の重要性について市の認識を問う。 ※（学校で子どもたちにも実施せよ）</p> <p>(2) 自宅避難所や循環備蓄（非常食）の重要性の推奨・周知・啓発。どう行っていくのか？</p> <p>III. マニュアルの作成・訓練（実施）方法について</p> <p>(1) 自主防災マニュアルは、各町内会単位で地域の実情に合わせたローカル色の濃いモノが必要になってくると思われるが、地域版避難所運営マニュアルの作成について、地域の実情を踏まえた地区（校下・拠点避難所）単位で作成できないか。</p> <p>(2) 人口増加等に伴って拠点（指定）避難所の増設とそれに合わせたルールが必要ではないか。 また、防災訓練の内容を見直して、よりリアルに人命救助の優先・二次災害の防止等、より実践的な訓練の実施、改善について市の考えを問う。</p> <p>IV. 連携の強化・仲介、斡旋（改善）について</p> <p>(1) 事前の地域間の取り組み 祭りや、BBQ等の催しを通してのネットワーク・コミュニケーションの構築が大切と言われるが、市としてどのように捉えているのか？</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
2	質問 (一問一答)	6 川 哲郎	<p>(2) 大学（金沢工業大・県立大）との連携の強化に関して今現在、どのような取り組みを行っているのか？ 避難所（建物・敷地）の開放の依頼。 学生を対象とした自主避難の訓練の実施依頼。 （お客さんになってもらっては困る。） 各、大学の所在・近隣町内会との繋がり構築に対して市として援助の考えはないか</p> <p>(3) コミュニティーの変化に伴う市民間の共助体制について『積極的なつながり』の構築を補助するような施策や取り組みはあるのか。 また、人口増加に伴う新住民への対応、転入時に情報の提供と、周知の徹底。 （町内会単位で、詳細に対応。） ⇒資料（地図・避難経路）の提供と説明。 「災害に強いまちづくり」に繋がると考えられる。 市の魅力や、特色になる。</p> <p>(4) 要介護者・要支援者・特定高齢者の把握と対応は、今現在どのようになっているのか？ （登録の強化の必要性和理解・周知）</p> <p>(5) 帰宅困難者試算の算出（休日の昼間を想定し）と、受け入れの対応等企業・JR等への依頼。</p> <p>V. 施設・設備・備品の強化 （1）人口に見合った拠点避難所の絶対数を確保することで物資等の移動時間短縮、労力の軽減ができると思うがいかか。 また、帰宅困難者対応の収容施設の確保（交遊舎・北ロプラザ）及び、施設の増設の検討について伺う。</p> <p><b>2. 原発問題について</b></p> <p>①市として、東日本大震災があったことを受けて尚、まだ、そのような認識であるのか？ ②野々市市として、脱原発を宣言する考えはないのか？</p>
3	質問 (一問一答)	3 杉林 敏	<p><b>1. 2015年統一地方選挙について</b></p> <p>①栗市長の次期市長選挙での出馬の意思について伺う。</p> <p><b>2. 市民の投票促進について</b></p> <p>①市内の投票所及び期日前投票所の在り方について、見直しを問う。</p> <p><b>3. AED（自動体外式除細動器）について</b></p> <p>①市公式ホームページの公開情報について不備はないのか。 ②町内会・自主防災組織にAED設置の助成について問う。 ③コンビニとのAED設置に関する協定を結ぶことで24時間体制で利用可能になるのではないかと。</p>
4	質問 (一問一答)	15 北村 成人	<p><b>I. 野々市市第一次総合計画と現在の進捗状況及び、これからの野々市市として進むべき方向性について市長の考えを問いたい。</b></p> <p>①総合計画にある目標人口は、平成33年度で54,000人とあるが、平成26年10月1日付の石川県発表の推計人口では、すでに55,800人余であり、すでに目標人口を大きく上回っているが人口目標及びその内容について見直しが迫られるのではないかと、お尋ねしたい。</p> <p>②総合計画の中にあるキーワードは、市民協働のまちづくりだと考えるが、市民協働という言葉の意味するところは何か、改めて市長のお考えを問う。</p> <p>③野々市市市民協働によるまちづくり推進指針には、自発心×連帯感×創造力=ののいちキャンパスとあり、また自助・共助・公助ともありますが、これらの中で行政が担うものは公助とするならば、その中身は具体的にどういうことなのか改めて説明を求めたい。そして各町内会の位置づけ、更には行政がこれらに取り組む基本的な大切なものは何か、お伺いします。</p> <p>④来年3月14日北陸新幹線金沢開業となります。さらに2020年（平成32年）東京オリンピックが開催予定です。少子・高齢化がいつそう進み、地方分権も更に拡大することが予測される中、野々市市として今後進むべき方向性は何を指標としてどういう方向を目指すのか伺います。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
4	質問 (一問一答)	15 北村 成人	<p><b>II. 自主防災組織の進捗とこれからの防災の対象は何か、またそれらに対する対応について</b></p> <p>①安心・安全のまちづくりは、行政として最大の指針であるが、市内54町内会の中で今、自主防災組織の進捗はどの程度進んでいるのか。</p> <p>②これら組織が担う役割と機能は何か、行政としての考えを伺いたい。また、野々市市における災害の種類と対処方法についてどのように考えているのか。更に現実に想定しうる災害の中で最大のものは何か。私は水害ではないかと思いますが、市長の考えはどうか。 近年の地球規模の自然環境の変化による集中豪雨を考えると、さまざまな制約もあるうとは思いますが、早急に対応すべき施策があるのではないか。例えば、各地域ごとに永久調整池の設置をするなど。</p> <p><b>III. 野々市中央地区整備事業について</b></p> <p>①この事業は、本町地区の再活性化と太平寺地区にあった県立養護施設跡地の再利用とを一体化した整備事業として着手した事業と認識しています。大賛成であります。最初は太平寺地区の土地利用として市立図書館の整備建設を進めるとの方針であるが、その進捗状況を説明願いたい。</p> <p>②先般、行政当局より公共施設管理事業団の廃止と民間委託を含む指定管理者制度活用の方針を耳にいたしました。方向性の確認をさせていただきたい。10月はじめ、会派の視察を行いました。その一つとして九州大分県の豊後高田市の市立図書館へ行ってきました。その管理運営について、本社が東京にある某民間会社でありましたが、図書館専門の管理運営会社に委託しておられ、運営の要は館長であり、運営に必要なすべてのノウハウに精通した人を館長として迎えるべしとの内容と少人数精鋭運営すべしとの話を聞き、感銘を受けて帰って参りました。当該担当課を含め、さまざまな検討がなされておられると思うが、これらについてどのような感想と意思を持っておられるのかお伺いしたい。</p> <p>③新図書館は、単に蔵書の数を競うのではなく、近隣自治体の図書館と連携のもと、例えば、子育て支援に特化した図書館であるとか、男女共同参画事業に特化しているとか、いずれにしても特徴のある図書館をコンセプトにするべきではないかと思うが、市長のお考えはいかがか。</p> <p><b>IV. 市民体育館の老朽化と公式競技会が出来る総合体育館の建設について</b></p> <p>①中央公園の一角にある市民体育館は、かなり老朽化がひどく耐震化への工事も考えると、建て替えの時期に来ているのではないかと。</p> <p>②スポーツ人口も年々増加し、各競技スポーツごとに各種の公式大会を開催したいが、会場その他の問題で開催できないとの話が多く耳に入ってくる。野々市市西部中央土地区画整理事業、いわゆる蓮花寺・田尻・堀内地区の事業の進捗に合わせ、上記の大会が可能になるような大規模な体育館建設構想をしてはいかがか。</p>
5	質問 (一問一答)	4 金村 哲夫	<p><b>1. 国営手取川流域農業水利事業について</b></p> <p>①現在の工事の進捗状況について 農地に用水を安定供給するため農業水利施設の改修を行う手取川流域農業水利事業の現在の工事の進捗状況を問う。</p> <p>②今後の事業計画について 工事入札時の不落不調における事業工期の遅れはあるのか問う。</p> <p>③環境との調和への配慮について 本地域は、多くの生物が生息する自然環境や美しい景観を有しており、これらとの調和に配慮した事業になっているのか問う。</p> <p>④小学校での取り組みについて 本事業を通じて、用水の歴史や役割、地域とのかかわりを子どもたちに伝えるよい機会だと感じています。水の大切さを学ぶ機会として小学校での取り組みを問う。</p> <p><b>2. 消火栓の見直しと防火水槽について</b></p> <p>①消火栓の見直しについて 市内の消火栓は、地盤面の下の地下式消火栓が多く、単口で1カ所から2ホースが可能となっており圧力の関係から十分な消防水利を充足できません。以上のことから、消火栓を見直す対策があるのか問う。</p> <p>②防火水槽について 市内に道路用と空地用に34カ所の防火水槽（40㎡級）があるが、平成16年で設置が最後となっている。34カ所でこれまで消火活動にどれくらい活用したか問う。 最低限の消火活動に必要な水量を地中にたくわえておく為の防火水槽等の設置計画を検討することを問う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	4 金村 哲夫	<p><b>3. 微小粒子状物質（PM0.5）対策について</b></p> <p>①微小粒子状物質（PM0.5）の観測について 本市のPM2.5の測定局での観測ではPM0.5の観測ができるのか問う。</p> <p>②健康影響の対応策について 大気汚染による健康影響の対応策を問う。</p> <p>③PM0.5に対応したマスクの購入について PM0.5に対応したマスクの購入に市から補助（保育園・小中学校）する考えがあるのか問う。</p> <p><b>4. 第一次総合計画について</b></p> <p>①目標人口及び総合計画の見直しについて 第一次総合計画では、平成33年度の目標人口を54,000人と定めておりますが、10月1日現在の県の推計人口は、55,877人となっております。今後、益々人口が増えると思います。 目標人口を変更することにより施策の変更も出てくると思います。また総合計画の内容の変更も必要と考えられますが、それらの見直しについてどのように考えているのか問う。</p> <p><b>5. 全国椿サミット野々市大会開催について</b></p> <p>①開催内容と現在の進捗状況について 全国から椿愛好者が集まり、椿まつりも開催されますが、本市としてどのような「おもてなし」を考えているのか問う。</p> <p>②椿の施設について 椿は市の花木で、シンボルでもあるため市民に愛着をもっていただくような施設の設置を考えてはどうか。</p> <p>③椿愛好者の市内案内について 椿サミット開催中で、市内に椿が多くある場所へ椿愛好者を案内する考えがあるのか問う。</p> <p><b>6. 末松廃寺跡発掘調査の整備計画について</b></p> <p>①今後の整備計画について 末松廃寺跡は、国指定史跡であり、現在、再整備に向けて発掘調査（平成26年～平成29年）を進めていると聞いております。今後の整備計画を問う。</p>
6	質問 (一問一答)	2 中村 義彦	<p><b>1. 防災都市野々市を目指せ</b></p> <p>・金沢工業大学との防災プロジェクトの充実を図り、防災強化都市を野々市の大きな特徴として地理的優位や、地方創生法の活用及び、北陸新幹線開業効果の有効利用の点からも日本有数の安全、安心な防災都市野々市を確立し、企業の誘致や、定住促進を図れ</p> <p><b>2. 雨水排水対策及び、下水道完備後の水路、側溝の整備計画を問う</b></p> <p>・下水道が完了すれば現在の水路、側溝の使用目的も変わり、都市化された本市における都市型水害の予防としての雨水排水対策の水路、側溝の整備計画を示せ</p> <p><b>3. 野々市中央地区整備事業に於ける側面的施策を問う</b></p> <p>・北国街道周辺の景観条例及び、まちなみ保存条例制定に対する考え方や今後の方向性を問う</p> <p>・北国街道沿いの他の市町村との連携及び、情報交換はあるのか、今後の計画の有無はどうか</p> <p>・金沢市など全国各地で行われている旧町名復活運動などによって伝統ある町名がよみがえっている事例があり、また本市にも、北国街道沿いの町名にかつて旧町名が使われていた。もし住民の要望が高まれば旧町名復活も可能かどうかを問う</p> <p>・第一次総合計画の中に、じょんからまつりを通じ、まちなかのにぎわい創出と交流人口の拡大に努めるとある。そこで5年後をめどに交流ゾーンとしての整備を行う旧役場周辺でのじょんからまつりの開催を考えればどうか</p>
7	質問 (一問一答)	1 西本 政之	<p><b>I. 休日の診療体制について</b></p> <p>①午前中のみとなっている休日当番医の対応を、午後まで拡充するよう、医師会に要請せよ。</p> <p><b>II. 男女混合名簿について</b></p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	1 西本 政之	<p>①市内の中学校においても、男女混合名簿を採用せよ。</p> <p><b>Ⅲ. のっティの運行ルートについて</b></p> <p>①利用者の利便性を考慮し、ルートの細分化または逆回りのルートを検討してはいかがか。</p>
8	質問 (一問一答)	10 土田 友雄	<p><b>学校教育について</b></p> <p>①松野教育委員長に委員長就任にあたり教育に対する抱負と考え方を聞く。</p> <p>②健全な教育には教師自身が健全でゆとりを持ち教育に臨む仕組みづくりが必要。 また、地域の協力を得て教育現場の環境を整えることも大切だと思うが野々市市の教育の現状と新たな取り組みについて問う。</p> <p><b>公園遊歩道の活用による健康づくり</b></p> <p>市の中央公園には健康の道があるが、歩くだけでなく様々な工夫により健康に寄与する方法があると思う。将来の街づくりの一端を担うものとして、市内の公園や遊歩道を活用した健康づくりを検討願えないか。</p> <p><b>来期の市政の抱負と決意</b></p> <p>来期の市政に対する抱負と決意について市長に伺う。</p>
9	質問 (一問一答)	16 岩見 博	<p><b>I. アベノミクスと消費税10%への増税についての市長の受け止めは。</b></p> <p>1. アベノミクスで国民のくらしは一層悪くなった。為替差益と株高で大企業と富裕層は潤ったが、庶民のくらしは物価高騰と消費税増税で苦しくなるばかりで、アベノミクスは貧富の格差を拡大しただけではないか。安倍首相も解散会見「消費税増税で個人消費を押し下げ、大きな重石となっている」と消費税増税による影響を認めている。市長は、アベノミクスと消費税増税をどのように受け止めているか。</p> <p><b>II. 子ども医療費の窓口無料化について</b></p> <p>1. 9月県議会において県知事は、市町が判断すれば「償還払い方式」から「現物給付方式」への変更を認めるむねの答弁をしているが、市として、窓口無料化を強く求めるお母さん方の声に応じて、来年4月から1,000円負担のない窓口無料化を実施すべきではないか。また、18歳まで助成対象を拡大する考えはないか。</p> <p><b>III. 子ども・子育て支援新制度について</b></p> <p>1. 新制度の保育料は市民税の所得割課税額による区分となるが、市民の立場からすると現行の所得税区分と比較して上がるのか下がるのか。しかも区分数が減ることになれば現行より大幅に保育料が上がる場合もあるのではないか。そうした負担増が生じないようにすべきではないか。</p> <p>2. 現実の働く女性の労働環境は厳しい。就学前の子どもがいるというだけで面接さえさせてくれないとか、子どもが生まれたことを機会にいろいろ理由を付けて解雇されるなど、子育てしながら就職先を見つけるのはかなり困難である。少なくとも求職中の入園期間を1年に延ばすなどの緩和策が必要ではないか。</p> <p><b>IV. 富陽小学校通学路の安全対策について</b></p> <p>1. 私が行っている市民アンケートに、通学路が狭く、子どもが車道に出たりして事故にあわないか心配。早急にガードレールを取り付けてほしいとの要望が寄せられている。実態は言われるとおりだと思います。早急な対策を講じることを強く求める。</p> <p><b>V. 窓口業務の外部委託計画について</b></p> <p>1. 第一次総合計画第三次実施計画において、窓口の在り方や業務方法の見直しを行うとしているが、戸籍や国保、徴税業務などを公務員でない民間労働者が情報を見ることになる民間事業者に委託するという事なのか。</p> <p>2. 民間事業者への委託は決して経費削減にもならないし、市民の待ち時間は逆に増えることになる。また、戸籍法の趣旨を守ろうとすると偽装請負は避けられないのではないか。</p> <p><b>VI. 街路樹と雑草管理について</b></p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
9	質問 (一問一答)	16 岩見 博	<p>1. 私が行っている市民アンケートで、今回特に多いのですが、車を運転していると街路樹や伸び放題の雑草で左右の見通しが悪く危険。管理をしっかりしてほしいという声が寄せられている。車を運転する人であれば思い当たる個所はいくつもある。特に低木は車から左右が見通すことができる高さに剪定するなど、早急な対処が必要ではないか。</p>
10	質問 (一問一答)	7 早川 彰一	<p><b>野々市西部中央地区（蓮花寺、田尻、堀内）土地区画整理事業について</b></p> <p>1. 事業促進に当たり周辺施設や産業との関連が強く、交通の要衝であるため道路網整備が重要である。見通しについて問う。</p> <p>2. 本事業と密接な関連をもつ中央公園整備の時期は。</p> <p><b>産学官と市民連携について</b></p> <p>3. 金沢工業大学との連携協定締結から10年、多くの芽生えや結実が有ると思うが主なものは。また新たな構想は。</p> <p>4. 学生の回遊する街づくり「野々市の街中をキャンパスに」具体化は。</p> <p><b>i-BIRD（アイバード）の機能を広く市民に広報しては</b></p> <p>5. 4大学と連携するi-BIRDは先進的な分野の研究開発、事業化を行っている。実績について市民はどう感じているか。</p>